

長寿 歌声響く10年

国内最大級の合唱祭、盛況

横浜みなとみらいホールで毎春開かれている国内最大規模の国際シニア合唱祭「ゴールデンウエーブ in 横浜」が、今年で10回を迎える。4月15～17日に開かれる今回は、国内外から過去最多の団体が出場するほか、節目を記念して多彩な企画も用意される。合唱祭を立ち上げたNPO法人ゴールデンウエーブの理事長、吉田奈美子さん(94)は「横浜市港北区」は「こんなに大きな合唱祭になるとは想像しなかった」と笑顔で振り返る。

(柏尾 安希子)

合唱祭には毎回、北海道から沖縄まで、全国のシニアコーラスが参加する。吉田さんがこれまで合唱を通して知り合った韓国や台湾のグループも来日。「みんな、みなとみらいホールという素晴らしい舞台で歌えることを楽しみに集まってきます」と吉田さん。

合唱祭のもう一つの魅力は、合唱活動が続けてきた吉田さんの人脈を生かし、普段は指導を受けることが難しい一流の作曲家や指揮者、音楽家が講評

来月15～17日、横浜

①「多くの人に歌声を聞いてほしい」と話す吉田奈美子理事長
②本番に向け練習が熱を帯びるゴールデンウエーブ記念合唱団
＝横浜市西区

者として顔をそろえること。1グループにつき複数の講評者が

批評する。

出演の希望は絶えず、2008年の第1回は83団体が参加し、17年は97団体。10回を迎える今年は、過去最多の113団体が出場する。

グループとしては出演しないが舞台に立ちたいという希望をかなえようと、公募の合唱団も結成。今年は節目を記念する「ゴールデンウエーブ記念合唱団」



一流の作曲家ら講評者に招き

として163人が集まった。合唱祭の講評者でもある全日本合唱連盟理事長の指揮者、岸信介さんは「みんな幸せな顔で歌っている。横浜の文化の魅力に触れながら、いいホールで歌える喜び。ゴールデンウエーブが開かれて良かった」と話す。

吉田さんは1963年から横浜市港北区の女声合唱グループで活動を始め、79年からは県合唱連盟の理事や監事を務めた。合唱連盟の秋のシニア合唱祭「ヴィサン 百歳万歳」を立ち上げたが、10回の節目を機に2005年、合唱連盟を引退した。その後、関係者に誘われゴールデンウエーブを企画。東日本大震災が発生した11年に中止した以外は、毎年続けた。15年には故田野原重明氏を名誉理事に迎え、NPO法人を設立。17年には「合唱音楽の発展に多大な貢献があった」として、同法人が全日本合唱連盟の創立70周年記念表彰を受けた。

「ぜひ多くの人に歌声を聞いてほしい」と吉田さんは話す。

今年も、記念企画として被災地の福島県相馬市の子どもコーラスが参加するほか、みなとみらいホールの池辺晋一郎館長の講演などもある。各日午前10時20分から。全席自由で500円。問い合わせは、ゴールデンウエーブ事務局 ☎045(3334)0460。